

成果報告書

I. 研究概要

氏名	東 照二
所属	ユタ大学
招聘回（招聘研究期間）	第8回、2013年10月1日～2014年8月31日
招聘研究テーマ	グローバル化は、日本語コミュニケーションのスタイルを変えているのか？：日本における政治・ビジネスリーダーたちのスピーチ・スタイルの分析
研究目的	グローバル化と コミュニケーションはどのような関係にあるか、特に、社会的リーダーたちのことばにどのような変化がみられるかを、主にフィールドワークをもとにしてデータ収集、調査・研究、理解することを目的とする。
研究概要：	<p>本研究では、政治家のことば、スピーチ・スタイルの変遷、さらに震災後の公的言語（ポスターなど）の実態、そして会社内の朝礼で使われることばの実態、という三つの側面から調査・研究を行った。</p> <p>政治家のことばの研究については、2013年に行われた東京都知事選挙での各候補者への応援演説、候補者の演説などを直接現場に出かけ、録音、参与観察を行うことができた。さらに、国立国語研究所のプロジェクトである「現代日本語の動態研究」のサブプロジェクトに参加し、貴重な音源資料の閲覧、また第三回研究会で発表する機会を持つことができた。</p> <p>ポスターなどの公的言語の研究については、実際に東北の被災地に出かけ、街中で観察される横断幕、ポスター、関連商品などをデジタル写真にとり、収集、及びデータ化をすることができた。</p> <p>会社の朝礼については、主に大阪の中小企業（お菓子製造、写真スタジオなど）の朝礼に、観察者として参加し、朝礼の内容、またその流れなどを録音することができた。</p> <p>これらの貴重なデータについて、分析、整理を部分的にはあるが、進めることができた。また、その結果の一部を著書、論文の形でまとめ、出版することができた。</p>
展望：	<p>今後、これまでの成果、データの蓄積をもとにして、日本における政治言語の歴史、特に、明治以降の演説史という形で、さらに研究を進めたい。さらに成果物として、著書にまとめるべく、すでに出版社との調整を始めている（『演説の現代史』（仮題）計画中、ひつじ書房）。</p>